



高次脳機能障害についての研修

参加無料[★]

人間は、目（視覚）、耳（聴覚）、口（味覚）、皮膚（触覚）から刺激を受けて脳に情報を送っています。そして脳は送られた刺激に対して言葉にしたり、学習したりします。さらに記憶した知識や経験を元にして判断を下したりもします。このような脳の機能を『高次脳機能』といいます。交通事故や脳卒中などで脳が損傷されると、記憶や集中力、考える力、言葉の障害、行動異常が生じることがあります。これらの障害を『高次脳機能障害』といいます。これらの障害について周囲の環境を整えたり、対応の仕方を工夫するなど、適切な対応を行えば、それまで出来なかったことができるようになったり、問題行動が減ったりすることがあります。このように症状を少しでも改善や進行を遅らせる方法についてお話しします。

日時 平成 30 年 12 月 10 日（火） 15：00～16：30

定員 50 名

対象 市内の介護保険サービス事業者の職員

講師 言語聴覚士 関 道子 先生

会場 京都認知症総合センター 地域交流センター

JR 宇治駅
より
徒歩 3 分

お申込み方法



- ①左記QRコードもしくは、
<https://www.takedahp.or.jp/recruit/trainingform/> からお申込みください。
- ②先着順になりますので締切日以降に受講証を送付いたしますので当日会場にお持ちください。
- ③定員の数に限りがございますので、1事業所2名までのお申込みといたします。ご了承ください。



社会福祉法人悠仁福祉会
京都認知症総合センター

〒611-0021 京都府宇治市宇治里尻 36-35